

いったいこの道、どこまで続けるの？ この熱気はどこから生まれてくるの？

——ミスセタに応募したきっかけは？
大学の友人に安城の子がいて、2年前にセタまつりに来たんです。それがわたしにとって最初に行った大きなお祭りだったんです。駅前の商店街を歩き出して、あの笹飾りに驚きました。いったいこの飾り、この道はどこまで続くんだろう、こんなにたくさんの方がどこから集まって来るんだろうってその衝撃を覚えていたこともあるし、友人がコンクールのことを薦めてくれたので、応募してみたんです。

——クイーンに選ばれて今はどんな気持ち？
コンクール当日の発表直後は、本当にうれしくて涙が出るほどでした。で



ち かげ
● 山口千景さん
(多治見市・20歳・学生)

2005ミスセタコンテストでダブル受賞
●クイーン受賞
●愛・地球博フレンドシップ事業
コートジボワール特別賞受賞

も今はだんだん気持ち引き締まってきたって感じです。表情の作り方や立ち居振る舞い、トークやメイクの仕方といういろいろ研修で学ぶうちに、セタまつりのイメージアップにつながるように自分が果たさなくてはいけない責任の重さとかを、自覚するようになってきましたね。ふだんの生活とか体調管理にも気を使っています。これまでは夜更かしがひどくて、朝の4時くらいまで起きてたりすることもあったけど…。

——それでは普段の自分は？
そうですね、意外に思われるかもしれませんが、剣道をやっています。経験は長いですよ。十五年。腕は三段です。ピアノも長いことやってたけど、

筆者のつぶやき

ミスセタ決定！というコンクール直後の写真を初めて見たときには、今流行のさわやか系、チェ・ジウ似かな？という印象。でも、実際に会ってお話したら、さわやか、よりも“かわいい”という言葉のほうが合うかな。

医学生という肩書きを持ちながら、実はタレントも夢見る山口さん。ぜひ、夢だけで終わらせず、現実のものとなるよう頑張ってください。そして大物になったときは安城市を大いに宣伝してね。

最近弾いてないな。歌を歌うほうが多いですね。

——セタまつりに向けての意気込みは？
二年前、私が初めて安城駅のホームに降りた瞬間に感じた、あのむせ返るような熱気（パワー）を皆さんに伝えたいです。

それで、あのパワーはいついどこから生まれてくるんだろうって自分なりに考えたんですが、その答えは、笑顔になって。心からお祭りを楽しんでいる笑顔。だから、わたしがその皆さんの笑顔の源になれたらと思います。